

今月のお知らせ

社会教育センター図書室
 ☎28・5449

おはなし会

町内2つのボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。

7/18 おひさまのおはなし会

とき 7月18日(木)

午前10時30分～

ところ 総合福祉センター南

対象 乳幼児

7/20 ゆめっ子のおはなし会

とき 7月20日(土)

午後1時30分～

ところ 社会教育センター1階

対象 幼児遊戯室

対象 小学校低学年、幼児

休館

資料整理のため、7月31日(水)は、図書室をお休みします。

8月1日(木)からは平常どおり利用できます。



新刊



アレックスとまほうのふね

児童書
 アレックスとまほうのふね
 (3歳から5歳向け)
 ヘレンクレイグ 絵
 (徳間書店)

「ぼくのまほうのふねにのらない?」空想好きな男の子アレックスは、おかあさんといっしょに魔法の船で、わくわくする冒険に出发し…。胸がはずむ、とびつきの時間を描いた絵本。



一般書
 夢見る帝国図書館
 中島 京子 著
 (文藝春秋)

友人から依頼された「日本で最初の国立図書館の小説」を綴りながら、涙もろい大学教授や飄々たる元藝大生らと共に思い出をたどり、友人の人生と幻の絵本の謎を追い…。本を愛した人々の物語。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

夏列車なまりおだやか橋渡る 谷崎琴

サーカスの高き大幕初つばめ 岡島齋

花桐やしかと明日を見つめをる 高木須磨子

炭炙り串打ち鮎と酒を待つ 山下敬太

片隅に忘れ去られし葱坊主 黒澤裕子

万緑のここがまん中春の闇 田村多喜子

アカシアの花をこぼせし風の朝 坪井昭子

古時計セピア色なり春の雨 東海林宗義

一山を越へて山竹の秋 杉浦みどり

青葉風シナモン香る町工場 水野眞月

新緑や湖岸に残る貸しボート 石黒貴代子

さらさらときらきらさらと青葉風 青山とも子

甲冑の影重くして五月闇 坪井径子

藪椿ぐわりと風にかたぶけり 青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

求道者と言はるるイチロー 荒川昌枝

米リーグ引退決断イチローの後悔などのあらう筈無しと 中澤芳子

首かしげ話す途中に 首かしげ老いたる身には忘るる多し 渡辺トヨ子

はなびらの舞ふ景も好き さくらばな年に度の逢ふ瀬待たるる 一柳千鶴子

白木蓮も皮ひとつ脱ぎて青空に 凛と立ちあゐる春呼ぶごとく 青空に青きスモックよく映えて 曾孫の一步は輝き増しぬ 柴田満枝

若菜摘む籠いっばいに青々と 空見上ぐれば陽の眩しかり 新しき元号は「令和」に 決まりたり希望に満ちる日本列島 小出寿枝

思ひ出づ期待と危惧持ち 広報にイチローさんのプロ入りのこと 心身の衰へゆくを受け止めて せて平らな道であれかし 山田 米

幾つまで生きるなどとは 言ひもせず昔と変らぬ氣分に生くる 水野笑子

編集後記

『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎著)は1937年に出版され、今なお、漫画化されるなどして語り継がれる名著である。主人公の少年、本田潤一は、「コペルくん」というニツクネームで呼ばれる▼地動説を唱えたコペルニクスが由来である。ビルの屋上から見た小さな人間を見て、一人ひとは社会を構成する分子のようなものだ、と言ったことに驚いた叔父が「コペルニクスの発見だ」と言って名付けた▼最初は、偉人から付けられたことに気後れや恥ずかしさを感じていたコペル君。しかし、親しみとともに級友たちにも広まっていく。そして、心を揺さぶる出来事を経て、気づく。叔父さんは、生きていくうえで大切なこと、「世の中は自分を中心に回っている。地動説、ではない」ということを忘れさせないためにこの名前を付けたのだということに▼今月号の広報では、地域包括支援センターの愛称を募集している。同センターは、高齢者が健康で生き生きと過ごしていただけるように、介護予防や相談などの事業に取り組んでいる。町民の皆さまに親しみを呼んでもらえ、時代を超えて呼ばれ続ける愛称をお待ちしている。